

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		多機能型支援施設 あゆみ園		配布数： 5名		公表日	令和7年 3月 20日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	1	4	状況により部屋を分けたり、外での活動も行っている。	人数が多い時や、動きの多い子がいる時等狭く感じる。・広さがもう少し欲しい。分けられる部屋がもう一部屋あれば。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	2	3	配置人数としては足りているが、現場としては人手がほしいことがある。	1対1の対応が必要な子がいる時、今現在の人数では足りない。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	0	来園し、ロッカーから学習室に入る流れはバリアフリーができています。	トイレに蓋があったほうがいいと思う。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	0	毎日の掃除等きちんとできている。	活動によっては狭く感じる。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	3	1	生活介護がお休みの時は作業室を使うことができる。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	3	1	半年に一度職員の個別目標を立て、3か月に一度面談をしている。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0	アンケートを実施している。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	月一回の部署会議や普段の会話でできています。・気になったことなどすぐに話せる環境にあるので良いと思う。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	3		第三者評価ができていない。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	0	研修の機会は多いと思う。・お勉強させていただけて嬉しい。		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	0			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5	0			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	0			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	1	1	ツールを用いたアセスメントはないが、記録は細かくとれている。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	3	0	組み込んで計画を立てている。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	0	各曜日ごとに活動を決めて行っている。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	3	1	くり返しが必要であるものは、同じ活動を行うこともある。	金曜日の自主活動が各自好きなことが決まっています、固定していることがある。	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	3	0	活動内容によって、集団で行うもの、個々で行うものを考えて計画を立てている。	外出等、集団活動できる児童に対してはできている。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	0	毎日支援前に今日の予定を確認している。その日のリーダーが内容を伝えている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	1	早番、遅番があり、当日に振り返りができていないが、記録や連絡ノートを使い重要なことは残している。翌日に報告を聞く。・部署会議等でも振り返りがしっかりできている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0	支援記録はしっかりできている。気になったことは確認し、改善するよう話し合っている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4	0	部署会議で振り返り、見直しが必要であれば支援方法を変えている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	3	0	年齢に合わせて役割が違うこともあるが、それぞれにあった活動を組み合わせている。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5	0	自主活動の時間がある。決められない時には待ったり、言えるように促す等している。・金曜の自主活動で個々に選択できている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	2	0	児童発達支援管理責任者が出席している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	0	月に一度医師が来園、診察している。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5	0	学校の予定の紙を印刷する。毎回次の日の下校時間を本人に確認している。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	0	保護者からの希望があった時にあすなろ園へ見学に行くことができた。機会があればぜひ行きたい。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	1	0	希望があった場合は積極的に行っている。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	1	0	自立支援協議会や市で主催される研修に参加している。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	2	直接的な関りはないが、地域の夏祭りや三世代交流会に遊びに行くことができた。・高校生のボランティアを受け入れたことがある。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	2	0	自立支援協議会には児童発達支援管理責任者が出席している。主催の研修には積極的に職員全員で参加している。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0	連絡ノートを使い、様子等を伝えている。お迎え時に今日の状況等を伝えている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	2		ペアレントトレーニングに参加したいと思っている。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	2	0	契約時に児童発達支援管理責任者から説明を行っている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5	0		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4	0	面談やお迎え時にお話ししている。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	0	4	先輩の話を聞きたい要望があれば、職員を通してアドバイスをいただくこともある。お迎え時に顔を合わせる機会がある。	開所当初から保護者会の希望がない。お仕事をされていたり、兄弟児の用事で忙しい方が多いので負担を増やしたくない。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4	0		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5	0	園だよりや行事の時のおたより等で伝えている。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4	0	利用契約時に説明をし、確認を取って同意書にサインをいただいている。・外部の展示に参加する際には改めて写真掲載の許可をとっている。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0	口頭で伝えるだけでなく、お便り、LINEや連絡帳を使って伝えるようにしている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	4		主催はできてないが、地区の夏祭りや三世代交流会に遊びに行かせていただいた。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	0	マニュアルを作成している。感染症講座を看護師のもと実施している。・変更等があった時、その度にプリント等で伝えている。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	0	防災訓練を行っている。普段から避難場所である富士根南小学校まで散歩をし、道に慣れるようにしている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5	0	連絡帳に記入してもらっている。状態によっては利用前に連絡をいただけることもある。詳しくお迎え時にお話を伺っている。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	0	利用時にアレルギーの確認をしている。外食をする際、アレルギーのある子のメニューは再確認をしている。・薬情等、ご家族に準備していただき保管している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3	0		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	2	0	感染症流行時にはお便りを配布したり、感染者が出た場合にはLINEにて体調の変化がないか確認を取っている。	

	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	0	ヒヤリハットがあった場合、記録し、共有、検討の話し合いができています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	0	虐待研修に参加している。・部署会議で確認し合い周知できている。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4	0	やむおえず身体拘束が必要な児童に対しては、同意書にサインをいただいている。毎月部署会議で身体拘束にあたることがなかったか確認している。	